

○概ね5年で実施する取組

別紙-2

具体的取組	課題の対応	目標時期	盛岡地方 気象台	岩手県	二戸市	八幡平市	葛巻町	軽米町	九戸村	一戸町
1)ハード対策の主な取組										
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策										
・堤防整備、河道掘削等 ・河川の適切な維持管理(河道掘削、立ち木伐採)	課題1	継続実施		◎						
■河川管理施設の治水機能を正常に保ち、有効に活用する取組										
樋門・樋管のフラップ化等の無動力化	課題1	継続実施		◎						
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備										
雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤整備の強化 (水位計・危機管理型水位計・水位監視カメラの増設等)	課題7、13	平成29年度から 5年間		◎						
住民への情報伝達体制の充実(防災行政無線戸別受信機、防災ラジオの配布等)	課題7	継続実施			◎	◎	◎	◎	◎	◎
・水防活動を支援するための水防資機材等の配備・強化	課題14	継続実施		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
・浸水域における防災拠点施設や排水施設の耐水性の確保・非常用電源の整備等	課題15	継続実施		○	—	—	○	○	○	○

2)ソフト対策の主な取組

①安全な避難行動のための取組

○水害リスクに関する情報提供等の充実										
・想定最大規模の降雨による水害リスクの公表(洪水浸水想定区域、浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域)	課題3	平成29年度から 5年間		◎						
・水害リスクや避難に関する情報の住民周知(浸水実績図、ハザードマップの作成、防災情報入手のサポート等)	課題3、7	継続実施		◎	◎	◎	○	◎	○	○
・大規模な洪水災害に対応した避難場所、避難経路の設定や、避難誘導看板・洪水痕跡等の表示	課題2	平成29年度から 順次実施			○	○	○	○	○	○
・水位周知河川の指定拡大	課題7	平成29年度から 5年間		◎						
・水害対応タイムラインの作成	課題6	平成29年度から 順次実施		○	○	○	—	○	○	○
○住民自らが避難行動を行うために必要な情報提供の充実										
・洪水に関する各種情報(水位情報、避難情報等)の発信、避難勧告に係る住民への理解促進	課題5、7	継続実施		◎	○	○	○	○	○	○
・近年の局地化・集中化・激甚化する雨の降り方に対応した防災気象情報の提供	課題7	継続実施	◎							

②地域防災力を維持・継続・強化するための取組

○PDCAサイクルを取り入れた自助・共助・公助の連携										
・避難勧告に着目した住民参加の実践的な訓練の実施	課題5、9	継続実施		○	◎	◎	○	○	○	○
・要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成及び訓練の実施・促進	課題8	平成29年度から 5年間		◎	○	◎	○	○	○	○
・隣接市町村との情報共有・連携(広域避難体制等)	課題2	平成29年度から 順次実施			—	—	○	○	○	—
○正しい知識の周知・定着										
・自主防災組織や地域住民を対象とした、水害リスクや防災に関する知識の普及(説明会、出前講座の実施等)	課題5、9	継続実施	◎	◎	○	◎	○	○	○	○
・教育関係者と連携した、児童・生徒等を対象とした防災に関する知識取得の強化(出前授業の実施、指導計画の共有等)	課題10	継続実施	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○

③人命と財産を守る水防活動及び排水活動の取組

・水防団や地域住民への、洪水に対するリスクが高い箇所の確実な伝達(重要水防箇所合同巡視、共同点検等)	課題7、12	継続実施		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
・水防体制の確保、強化を図る継続的な取組と新たな手法の導入 (水防団等の募集・指定の促進、地域の事業者による水防実施体制の検討・構築等)	課題4、11	継続実施			◎	◎	◎	◎	◎	○
・より的確な人命と財産を守るための情報の積極的な提供 (水防団等及び水防団等士の連絡体制の再確認、浸水想定区域内の市町庁舎や災害拠点病院等の情報共有・伝達体制・伝達方法、排水機場・樋門・水門等の情報共有等)	課題12	継続実施			◎	○	◎	◎	◎	◎
・関係機関が連携した一体的な実働訓練の実施(水防訓練、操作訓練、排水訓練)	課題9	継続実施		◎	○	◎	◎	○	◎	◎
・関係機関が有する水防資機材の情報共有	課題14	平成29年度から 順次実施		◎	○	○	○	○	○	○

◎:実施中、○:今後実施・検討、—:未定